

最終日まで長崎を満喫 軍艦島に上陸 近代産業の興隆と歴史を学ぶ



修学旅行 4日目 軍艦島上陸・長崎市内研修編



▲本校生たちは軍艦島に上陸して、ガイドの方の説明に耳を傾けた。

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

修学旅行 4日目となる24日には、2、5、6、7組が軍艦島クルーズを行い、1、3、4、8組が長崎市内での班別自主研修を行った。

軍艦島クルーズでは天候に恵まれて端島に上陸できた。ガイドの方によると今日の波は上陸可能ギリギリの状況だった。なかなか見られない風景に目を輝かせた。

班別自主研修では、出島や大浦天主堂、グラバー園など古くから異国情緒を残すスポットを巡った。鎖国政策下でも国内唯一の国際都市として発展を遂げ、今でも明治産業革命遺産やキリシタン関連遺産は注目の地となった。加えて新地中華街で中華料理に舌鼓を打った。生徒の間では長崎ちゃんぽんや角煮まんが好評だった。

午後から3グループに別れて西九州新幹線や東海道新幹線を利用して移動した。京都駅に到着し、修学旅行全4日間の旅程が終了した。生徒310名は全員無事に帰途についた。



▲中華街では焼売やごま団子、長崎ちゃんぽんを食べ納めた。



▲眼鏡橋をバックに眼鏡ポーズ



▲出島の街並み。鎖国時代の国交に思いを馳せたと移動した。京都駅に



▲グラバー園に潜むハート型の敷石を発見した。